

中札内村

面積：292.69㎦
 人口：4,116人（男2,030、女2,086）
 （平成18年4月末現在）
 世帯数：1,756世帯（平成18年4月末現在）
 村の木：かしわ
 村の花：すずらん
 村名の由来：アイヌ語で「乾いた川」を意味するサチナイと札内川の中流域に位置することから、中札内という村名になった。
 ホームページ：<http://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp>
 メールアドレス：yakuba@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp



中札内村地域課 経済グループ

主査 高島啓至さん

道の駅「なかさつない」

実り豊かな農畜産業、 花とアートの美しい村

「北海道の背骨」と呼ばれる日高山脈の中央部を源とする札内川は、平成8年から10年まで3年連続、通算7回「清流日本一」に選ばれました。その札内川流域に位置する中札内村は農業を基幹する、自然豊かな村です。豆、馬鈴薯、小麦、ビートなどの畑作のほか畜産関係では乳牛、鶏卵、ブロイラー、豚肉生産が盛んです。

「土から出たものは土に返せ」を合言葉に、畑作では有機質を畑に還元する循環型農業を目指し、昭和60年に「有機農業の村」を宣言しています。

また花とアートに大変力を入れていて、平成11年からガーデニングコンテストを実施。それ以降公共施設や農家、住宅地の花壇が美しい花で飾られるようになりました。毎年7月中旬から「花フェスタ」を開催していて、オープンガーデンが楽し

めます。色とりどりの花が咲き誇る個人宅の庭が見学でき「庭造りの参考になる」と、公開を心待ちにしているファンも多いようです。「北の大地」をテーマに行われる全国絵画公募展「中札内村北の大地ビエンナーレ」もすっかり定着。毎回、質の高い作品がよせられ、村の芸術や文化の振興に役立っています。

村内には見どころも多く、中札内美術村には「北の大地美術館」や「小泉淳作美術館」があります。タレントの田中義剛さんが牧場長を務める「花畑牧場」では、動物たちの多彩なショーが人気です。いちご狩りなら「ピータン農園」へ出かけてみては？「札内川園地」では、落差10メートルの豪快な流れが堪能できる「ピョウタンの滝」があります。「人に優しいダム」を基本に、長い時間をかけて自然に戻すことを心がけ、周辺の緑地整備が進められた「札内川ダム」。ダムギャラリーでは札内川ダムの概要を説明する写真やパネルが展示されています。

おいしいものがズラリ、 42万人の利用者も満足

平成17年4月にリニューアルオープンした道の駅「なかさつない」は、平成17年度だけで42万人もの人が訪れた人気の高い道の駅です。国道236号と道道清水大樹線の分岐点に位置し、南十勝観光の入り口として重要な役目を果たしています。

中心施設「カントリープラザ」には、中札内の四季を紹介するコーナーや観光情報コーナーのほか、地元の農産物をふんだんに使ったレストラン「豆キッチン」があります。中札内産鶏のチキン



道の駅「なかさつない」の中心施設「カントリープラザ」

カツのほか、メニューも豊富です。売店には農産物加工品や乳製品、肉製品などが豊富に並び、おみやげを選ぶ人の姿が絶えません。

その場で食べられ、テイクアウトも可能な屋外物産販売所「花水山」が駐車場に隣接し、ソフトクリームやいもだんご、フランクフルト、カレーなどを提供するお店が出店しています。中でも自家製カマンベールチーズを使ったアイスクリームが評判で、1度は食べてみたい味です。村で生産された新鮮な野菜や花、工芸品などをあつかう物産販売コーナーや、生産者が対面で自慢の農畜産物を販売する対面販売コーナーもあります

「道の駅に寄っていただければ、中札内村のいろいろなおいしい物に出合えます。駐車場も広いですし、ゆっくり過ごしていただきたいですね」と、中札内村地域課経済グループ主査の高島啓至さん。年間42万人が利用するのもうなずけます。



ビーンズ邸（豆資料館）の外観



開拓記念館



屋外物産販売所

歴史的建造物を上手に利用

このほかに大正末期に建てられ、実際に昭和63年まで使用されていた旧開拓農家の住宅を移築・復元した「開拓記念館」が敷地内にあり入場は無料。昔の暮らしを伝える数々の展示品を見ることができます。また記念館内にあるそば店「蕎良」は、地元のそば粉を使った手打ちそばを食べさせてくれます。歯応えも良く、大変おいしいそばなので人気があり、営業は午前11時から午後4時までですが、無くなりしだい終了します。

豆も生産している村らしく、豆のことを広く知ってもらおうとビーンズ邸（豆資料館）を設け

ているのも大きな特徴です。昭和22年に帯広市幸福町に開設された旧馬鈴薯原原種農場の事務所棟を移築。架空の人物、豆畑拓男氏の自宅兼研究所というユニークな設定で、豆に関する資料を展示しています。こちらも入場無料です。

屋外の広いスペースには芝生公園や池などもあり、ドライブの疲れを癒してくれる環境が整った施設になっています。

「中札内村は“花の村”とも呼ばれるほど、ガーデニングが盛んで、毎年きれいなお庭を見ようとたくさんの方が村外から訪れます。花畑牧場のような子供から大人まで楽しめる施設や、美術館などもあり訪れた方にとって魅力ある村だと思います。農産物やその加工品は気候風土に恵まれた十勝ならではのおいしさが味わえ、絶対の自信作。どうぞいらしてください。そして肌で、舌で中札内村の素晴らしさを十分に堪能していただきたいですね」とピーアールする高島さん。

清流日本一の村を訪ねるのなら、道の駅「なかさつない」を基点にしたいものです。